

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サンクスラボ・アフタースクール那覇				公表日	令和7年3月31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・小学生～高校生まで利用している為、小学生と高校生の生活空間を分けている。 ・PC室と学習室を分けている。	・活動内容に応じて机を移動させるなどし運動や活動に必要なスペースを確保いたします。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・利用児童の少ない土曜日に職員の休みを入れて、平日に配置を多くする事で基準を守りつつ、学習支援等厚く支援できるように、職員数を確保する様努めている。	・配置基準を厳守して配置していますが、支援の必要性の高い児童が多く利用する日は職員の配置をさらに厚くするなどの対策を行っております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・机、棚の角に安全グッズを設置、また階段に滑り止め等を設置し、安全に生活できるよう努めている。	・一軒家の為、構造上バリアフリー化は難しいが段差等でケガをしないように注意することに努めております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・子ども達の活動に合わせてPC室や学習スペースを分けている。 ・毎日の清掃をしっかりと行い、感染症対策で使用している机、椅子等の除菌も行っている。	・今後も安心して過ごせる環境を提供してまいります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・静養室を設けている。	・今後も継続して実施していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・その都度状況に応じて、職員全員で取り組んでいる。	・ミーティングで職員から業務改善案を随時募っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・保護者の意見を踏まえて、日ごろの活動が分かるように新聞を発行している。 ・アンケートを通して、職員と話し合いを実施し保護者の意見を把握する機会を設けている。	・今後も継続して実施していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・毎日のミーティングで行っている。	・今後も継続して実施していきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	・社内による評価を実施している	・第三者による外部評価は導入しておりませんが、毎年社内の専門部署が事業所の評価を行っております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	・法人内で開催される研修には、スクージュールを合わせて職員全員が参加できるように努めている。	・法人外での研修にも、積極的に参加し職員の支援力の向上に努めます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	3	・作成、公表できている。	・今後も作成、公表を行います。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		職員間で情報を共有した上で、計画を作成している。	・今後も継続して実施していきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		毎朝の朝礼で情報共有をし、支援方法等を検討している	・今後も継続して実施していきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		職員全員が確認できるようになっており、常に計画書を確認しながら支援が出来るようになっている。	・今後も継続して実施していきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3	・毎日の朝礼で確認、共有している。 ・1日のスケジュールを目で見てわかるように室内に掲示している。	・児童の学習状況が把握できるツールを今後作成する予定となっております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・子ども家庭庁放課後等デイサービスのガイドラインに沿って、個別支援計画を設定しています。	・今後も継続して実施していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・チームで話し合って活動プログラムを決定している	・今後も継続して実施していきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・前年度や前の月の活動プログラムを確認しながら、同じにならないよう工夫し計画を立てている。	・今後も継続して実施していきます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・児童の状況に合わせて、計画を作成し、支援を行っている。	・今後も継続して実施していきます。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・毎朝のミーティングで児童の情報を共有し、どのような支援をするか確認を行っている。	・今後も継続して実施していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	・支援終了後の時間内に共有できなかった分に関しては、翌日朝礼で共有している。	・職員朝礼、終礼にて児童について情報共有を行っている。今後も職員間での情報共有を継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・当日中に記録を取り、支援の改善、検証は翌日の朝礼で行っている。	・今後も継続して実施していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・モニタリングに職員全員が参加できるように努めている。	・今後も継続して実施していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6		・ガイドラインに沿い、児童によって組み合わせを工夫し支援を行っている。	・今後も継続して実施していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・自己選択ができるような声掛けや、児童の行動を観察後に支援や声掛けを行っている。	・今後も継続して実施していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・児童発達支援管理者や、その児童との関りの強い職員が参画するよう努めている。	・今後も継続して実施していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	4	・学校との情報共有をし、連携した支援が取れるよう努めている。 ・医療機関との連携は取れていないが、必ず保護者を通じて情報共有を行っている。	・今後は医療機関との連携を強化いたします。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・保護者からの聴取や、学校へのお迎え時等に共有を行っている。	・今後も継続して実施していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4	・相談員と保護者からは情報共有ができるように努めている。	・今後は保育所等との情報共有を強化いたします。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		・障害福祉サービス事業所へ一緒に見学を実施している。	・今後も継続して実施していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		・児童発達支援センターとの連携がなかったので今後は必要に応じて連携を取れるよう努めてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	・活動行事として児童館を利用している	・今後も継続して、回数を増やしていけるよう努めます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	・LINEで情報共有をしている。	・今後は協議会へ出席し情報共有を行ってまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・送迎時、またLINEを活用して日頃から連絡を取り共通理解を計っている	・今後も継続して実施していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	・資料配布等で通知を行っている。	・今年度のペアレント・トレーニング実施に向けて取り組んでおります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時に行っている。	・今後も継続して実施していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・相談員及び学校関係者との定期的なモニタリングを行って確認している。	・今後も継続して実施していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・送迎時等に説明を行い、しっかりと同意を得ている。	・今後も継続して実施していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・家庭の状況に応じて、LINEや電話及び訪問して行っております。	・今後も継続して実施していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	1	・開催できたが、今後も定期的に行けると良い。 ・親子クッキングを実施した。	・今後も定期的に開催できるよう努めます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・今年度の苦情なし	・今後も苦情が来ないよう努めていきたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・事業所で新聞を発行、またはInstagramで行事内容等を発信している。	・今後も継続して実施していきます。

非常時等の対応	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・新聞やInstagram等の発信の際には、個人情報 that 映らないよう細心の注意を払って行っている。	・今後も継続して実施していきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・児童に合わせて分かりやすいように可視化している。 ・保護者に対しては、LINE等により文章で残るようにしている。	・今後も継続して実施していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	・行っていない。	・今後計画を予定する。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・マニュアルを作成して周知している。また、感染症の訓練を実施している。	・今後も継続して実施していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・消防署の方を呼び、心臓マッサージ等の訓練を実施している。 ・年に2回震災などの訓練を実施している。	・今後も継続して実施していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に保護者から既往歴に関する事項を必ず確認している。	・今後も継続して実施していきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	契約時に保護者からアレルギーに関する事項を必ず確認している。	・現時点でアレルギーのある児童はいませんが、発生の際は医師の指示書に基づき対応いたします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	3	・安全計画を作成し、ケガをしないようにテーブルの角にクッションを設置しており、定期的に有無を確認している。	・定期的に事業所内を点検し、危険があればすぐに対応いたしております。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3	・SNSでの周知は行っている。	・SNS以外での周知はあまり実施できていない為、今後は実施できるよう努めていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハット事案発生時の際は、概要とその対応、対策を様式に記載する。	作成した文章を全職員で共有し、再発防止に努めております。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		法人内で策定されたマニュアルの基、全職員研修に参加するように努めている。	今後も継続して研修に参加し、職員の意識向上を図ります。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	3	・契約時に重要事項説明書の読み合わせなどを行い、説明している。	・利用児童に身体拘束の必要性はないが、必要となる場合に備えて研修を行っております。	